

第2回八幡ふるさと検定 試験問題

(制限時間60分)

平成28年1月17日(日)実施

<注意事項>

1. 開始の合図があるまで中を見ないでください。
2. 解答は全て解答用紙に記入してください。
3. 第1問から第20問までは、○×問題です。
4. 第21問から第50問までは、3つの選択肢から一つ選ぶ問題です。
5. 終了後、この試験問題用紙を持ち帰っても構いませんが、解答用紙は必ず提出してください。

主催：八幡コミュニティ

第2回八幡ふるさと検定 試験問題

平成28年1月17日(日)実施

A. 次のそれぞれの問題をよく読んで、文中の下線の箇所について内容が正しい場合は○を、誤っている場合は×を、解答欄に記入しなさい。

【八幡の概要】

1. 昭和35年に八幡・岡田・旭の3町が合併して知多町となり、昭和45年に市制を施行して知多市が誕生した。
2. 八幡の人口及び面積(平成26年4月1日現在)は、市内の10のコミュニティの中で第1位である。
3. 八幡コミュニティは、12地域(字、町内会)から構成される。
4. 明治11年に平井村、中島村、荒古村、廻間村が合併して八幡村ができた。

【古地名】

5. 小根は、中島村の枝郷であり、海岸近くの神明社に氏神がまつられている。古くから漁業を中心とした地であり、漁小根(すなどりおね)とも呼ばれていた。
6. 生活が安定し米作りが盛んになった江戸時代、田が少しでもほしい寺本は、川を切り開いて中島川を造った。この中島川のお陰で寺本地区は米がよくとれるようになった。川を切り開いたことから、この辺りを「堀り切り」と称した。今は、この川は暗渠にされ、その上を名鉄常滑線を跨ぐ道路ができたので、昔の面影はなくなってしまった。
7. 「野間海道」とは、源頼朝公が父義朝公の法要をするために通られたという道で、中島の権現堂より光明寺付近までの道をいった。また、大雨のとき水びたしとなったことより別名「沼垣内(ヌマカイト)」ともいわれていた。

【久野庄太郎と愛知用水】

8. 久野庄太郎氏は、昭和 22 年に中部地方を襲った大干魃^{かんぼつ}を機に用水の必要性を痛感して愛知用水運動を開始した。
9. 久野庄太郎氏は、都築弥厚^{つづき やこう}氏と意気投合し愛知用水の建設運動を進めた。
10. 愛知用水の建設に多大な貢献をした久野庄太郎氏は、山崎延吉^{やまざきのぶよし しじ}翁に師事して農政理論を学んだ。山崎翁は、安城農林学校の初代校長で、愛知県立農事試験場の試験場長も兼任し、農業の教育と実践の両面を生かして愛知県下の農業振興に貢献し“農聖^{のうせい}”と呼ばれた。
11. 昭和 23 年 12 月に、愛知用水の建設促進に向けて、知多半島の市町村長が東京陳情を行った。
12. 愛知用水は、現在、工業用水として一番多量に利用されている。

【農間稼ぎ^{のうかんかせ}】

13. 知多市の北西岸では、昔から牡蠣^{かき}の養殖がさかんであった。
14. 尾張万歳は、現在の名古屋市東区矢田町にある長母寺^{ちようぼじ}を開いた無住国師^{むじゅう}が、平安時代^{しょうお}の正応年間に寺の雑役をしていた村人^{ほけきやう}に法華経をわかりやすく説き、節^{ふし}をつけて教えたのがその起こりとされ、法華経万歳と呼ばれた。
15. 尾張万歳^{おわりまんざい}は農間期の貴重な収入源となる出稼ぎとして引き継がれてきた。江戸時代になると、大名屋敷や武家屋敷へ万歳に行くようになった。このような座敷にあがって演じる万歳を門付万歳^{かどづけ}と呼ぶ。
16. 「黒鍛」の技術の跡は、知多市に今も残っているが、その例をあげると、堀之内城の中腹に残る割石積の石垣、八幡神社の本殿基礎の石垣などがある。
17. 上方落語^{かみがたらくご} 桂ざこば師匠^{かつら ししやう}の十八番に、「狸^{たぬき}の化寺^{ばけでら}」という演目があるが、そこに黒鍛稼ぎ^{くろくわ}に出た人たちが登場する。

【法海寺】

18. 天智 7 年 (668) 年 8 月 3 日創建とされる法海寺は、知多半島で最も古い寺といわれている。
19. 「酔笑人神事」は、草薙の剣の故事に関わる熱田神宮のお祭りであるが、毎年 5 月 4 日に法海寺でもひそかに行われている。

【方言】

20. この地方の方言で、「育てる」ことを「シトネル」といった。

B. 次のそれぞれの問題をよく読んで、正しいと思われる選択肢の記号を解答欄に記入しなさい。

21. 大正 11 年から昭和 30 年まで町の行政の中心となっていた八幡町役場は、現在のどこにあったでしょうか？
ア、八幡公民館 イ、八幡小学校 ウ、八幡神社
22. 次の 3 地域のうち人口 (平成 26 年度) が一番多いのはどこでしょうか？
ア、八幡新町 イ、杉山 ウ、中小根
23. 知多北西部の海苔養殖は、大正中期に開始され、昭和 30 年代に黄金期を迎えたが、昭和 40 年に姿を消した。その理由としてふさわしくないものはどれでしょうか？
ア、名古屋港域の海苔漁場を埋立て、大工業地帯を造成するため。
イ、昭和 34 年 9 月の伊勢湾台風の襲来による海岸の復旧工事を進めるため。
ウ、他地区の海苔より品質が悪かったため。
24. 知多北西部では海苔養殖が盛んにおこなわれていた。当時海苔養殖には、いろいろな漁撈具が使用されたが、「そだ」を立てる穴を掘る道具は次のうちどれでしょうか？
ア、そだ差し イ、竹打ち ウ、とおし
25. 法海寺の開基は、新羅国明信王の太子の道行法師といわれる。時の天皇の御不例 (=ご病気) を当山御本尊に祈願して平癒した功によって、「薬王山法海寺」の勅額と寺田 280 町歩を賜った。その天皇とは誰のことでしょうか？

か？

ア、天智天皇 イ、弘文天皇 ウ、天武天皇

26. 法海寺の毘沙門天立像はいつの時代の作でしょうか？

ア、平安時代 イ、鎌倉時代 ウ、室町時代

27. 法海寺境内からは蓮華文瓦が出土しているが、いつの時代のものでしょうか？

ア、飛鳥時代 イ、白鳳時代 ウ、天平時代

28. 知多地区には多くの城郭があったが、「尾張志」によれば「〇〇村にありて今天王山といふ（中略）花井播磨守其の子勘八郎二代居しといひ伝へたり」とある。〇〇村とは、次のどの村でしょうか？

ア、大草村 イ、堀内村 ウ、佐布里村

29. 信長公記によれば天文 23（1554）年、織田信長は、緒川城へ援兵を送り今川方の砦を攻略（1月 24 日）し、花井氏の本拠である寺本城の城下に放火し那古野に帰ったとある。さて、何という砦を攻略したでしょうか？

ア、吉田砦 イ、荒尾砦 ウ、村木砦

30. 寺本城は堀之内にあった。天守の鬼瓦は青銅の鱗形をしていて、夕日に映えて伊勢湾の舟から良く見えたという。寺本城の別の名は何というでしょうか？

ア、金鶏城 イ、青鱗城 ウ、白鷺城

31. 幕末の尾張藩での「青松葉事件」で討ち手となった渡辺正蔭は、廃藩の後は、現在の知多市八幡字荒古に移住してきた。廃仏毀釈の先頭に立ち、堀之内にあった〇〇〇の取り壊しの急先鋒をつとめた。〇〇〇とは何というお寺でしょうか？

ア、眼行院 イ、福養寺 ウ、教順坊

32. 久野庄太郎氏と浜島辰雄氏は昭和 23 年 7 月に出会い、翌日から愛知用水建設計画のため調査を開始した。そのために最初に登った山は何という山でしょうか？

ア、小牧山 イ、尾張富士 ウ、御岳山

33. 愛知用水第 1 回東京陳情は、久野庄太郎氏を中心に農村同志会おこなで行った。昭和 23 年 12 月 25 日、首相官邸で、久野氏が地図を広げて説明を始めた。その時、「食糧の増産量は？人夫はどれぐらい使うか？」と次々に質問し、最後になって、大きな声で「食糧増産、失業対策、よいではないか！」と、賛同してくれたのは誰でしょうか？
ア、近衛文麿首相 イ、吉田 茂首相 ウ、岸 信介首相
34. 久野庄太郎氏は、愛知用水の実現に向けて私財を投じ東奔西走した。そのさなかに破産宣告を受け、「用水運動からも手を引くべきだ」という厳しい忠告を仲間から受けた。そこで、一旦いさぎよ潔く身を引き、京都山科の〇〇〇にこもり自己を見つめ直した。その後、迎えに来た農村同志会の仲間と共に山を下り、運動に復帰した。〇〇〇とは、どこのことでしょうか？
ア、一燈園いっとうえん イ、永平寺えいへいじ ウ、延暦寺えんりやくじ
35. 現在の八幡神社の例祭では、渡御神事とぎよしんじに屋形やかたが参列している。尾張藩の命により宝暦 5 (1755) 年に作成された祭礼絵巻によると、山車が曳かされている。その絵巻の山車は、〇〇〇型に近い特徴を持っている。〇〇〇型とはどれでしょうか？
ア、知多型 イ、名古屋型 ウ、高山型
36. 八幡神社の祭礼「輪越わごしのはらえ祓」(正式には「夏越なごしのはらえ祓」)は、毎年 7 月に行われている。そのとき、くぐる「輪」は、何でできているのでしょうか？
ア、稲 イ、麦 ウ、葦よし
37. 八幡神社の例祭では、渡御神事とぎよしんじが行われる。その由来として、八幡神社の祭神 譽田別命ほんだわけのみこと (応神天皇おうじんてんのう) が、年に一度、母君を祭神とする杉山の神功皇后社じんぐうこうごうのもとへ渡御されていた故事が伝えられている。ある年のこと、途中で嵐に遭い、〇〇〇へお立ち寄りになったことから、それ以後は〇〇〇への渡御に変わったという伝承がある。〇〇〇とは、どこでしょうか？
ア、栖光院 イ、大祥院 ウ、天白社
38. 知多地方に万歳が普及した理由として長母寺ちようぼじの寺領じりょうがあったからとされている。次のうち長母寺ちようぼじの寺領であったのは、どこでしょうか？
ア、寺本村 (知多市) イ、荒尾村 (東海市) ウ、大野村 (常滑市)

39. 尾張万歳の起源となる五万歳ではないのはどれでしょうか？
 ア、法華経万歳 イ、六条万歳 ウ、三曲万歳
40. 六条万歳は、鎌倉時代の僧の一代記や、本願寺の御堂の素晴らしさを歌っている。本願寺のある通りが六条であったことから、このように呼ばれた。浄土真宗の家で演じられる「鎌倉時代の僧」とは、誰のことでしょうか？
 ア、法然 イ、親鸞 ウ、一遍
41. 尾張万歳のうちの三曲万歳は、3 楽器を用いることからこう呼ばれている。では、鼓、鼓弓のほかにどの楽器が用いられたのでしょうか？
 ア、ヴァイオリン イ、三線 ウ、三味線
42. 太夫1人に才蔵が4人から6人の舞台向けの万歳で、新春に亀と鶴が来訪し、家を建てる柱一本ごとに各地の神々を呼び込んで、瓦を伏せ、七福神が現れて新築を祝う万歳を御殿万歳という。次のうち「七福神」でないのはどれでしょうか？
 ア、大黒天 イ、寿老人 ウ、達磨
43. 知多市八幡字観音脇25番地に所在する寺の境内には、知多市指定保存樹第1号の樹齢約740年の大きな楠木がある。知多新四国80番の札所となっているその寺とは、何というお寺でしょうか？
 ア、大智院 イ、慈眼院 ウ、栖光院
44. 「八幡の語り草」を読むと、三重県木曾岬村の開拓と知多市八幡とは江戸時代から深い関連があることがわかる。財力があつた者が中心となって、培われた土木技術をもって木曾岬の砂州や沼沢地の新田開発に乗り出していったようである。木曾岬には常在院というお寺があり、大祥院の末寺として建立されたという古文書がある。また、花井、大橋、〇〇という名字の人が今も多くいるという。〇〇とは何でしょうか？
 ア、浅井 イ、竹内 ウ、冨田
45. 「黒鋤衆」は、鋤頭を中心に10数人から数10人が集団をなして出稼ぎに出た。八幡地区の人々が中心であったようである。尾張藩内はもとより、三河、信州方面、遠くは和泉、摂津方面へ出かけたと伝えられる。他には、どんな方面へ出かけたでしょうか？

ア、関東方面 イ、東北方面 ウ、北海道方面

46. 平成 24 年 5 月 12 日付中日新聞(知多版)に「半島の出稼ぎ集団『黒鯨』
工事中事故死、長野で眠る — 郷土史家ら供養訴え」が掲載された。
黒鯨の人たちは伊那谷の飯田から、木曾谷の妻籠へ抜ける大平街道の道路
工事に従事していた。木曾谷に山津波があり、川を越えた対岸に設営して
あった飯場を襲い 21 人が死亡。その中で知多に引き取られなかった多くの
遺体は、どのように埋葬されたのでしょうか？
ア、現地の厚意で、村はずれの墓地の隣に細長い溝を掘って埋めた。
イ、火葬にして焼却した。
ウ、事故現場付近に埋葬した。
47. 八幡に古くから語り継がれてきた伝説や民話、それに、風俗、習慣、行事、
生業等を記録して、後世に伝えていきたいとの思いで各方面の資料が集め
られて、昭和 58 年に発刊された本の名前は何かというのでしょうか？
ア、「八幡の語り草」 イ、「八幡の歴史」 ウ、「八幡の昔話」
48. 八幡でも、五穀豊穰を祈って「虫送り」という行事が、江戸時代より昭和
34 年の伊勢湾台風の前まで行われていた。黒廻間池の堤で点火された松明
が折からの黄昏の中を一つ、二つと動き始め、多いときは 200 から 300 と
続き、その後を高張提灯、笛、太鼓が連なり、最後に供養場に集結。供養
場は〇〇〇の西側にあった。〇〇〇は、どこでしょうか？
ア、神明社 イ、八幡神社 ウ、法海寺
49. この地方の方言として、今も使われている意味として正しいのはどれで
しょうか？
ア、「ばかばかしい」のことを「トロクサイ」ということがある。
イ、「黄金虫」のことを「オンカ」ということがある。
ウ、「端」のことを「グルリ」ということがある。
50. 知多市内の方言は、以下のように分けることができる。正しい記述はどれ
でしょうか？
ア、八幡地区の方言 ・ ・ ・ 尾張弁・名古屋弁につながる
イ、岡田地区の方言 ・ ・ ・ 三河弁につながる
ウ、旭地区の方言 ・ ・ ・ 両方につながる